

二〇二三年度 第一三二回
静岡英和女学院高等学校 卒業式

麗しい姿

例年にない早い春の訪れとなりました。あっという間に旅立ちの時が来てしまいました。通い慣れた道は今朝が最後だったかもしれません。赤の皆さん、卒業おめでとう。

ご臨席を下さいましたご家族の皆様、心よりお嬢様のご卒業をお慶び申し上げます。成長された姿に感無量のことと思います。おめでとうございませう。

本日は感染症の五類移行に伴い、五年ぶりに来賓の皆様をお迎えすることができました。ご臨席を賜り心より感謝申し上げます。後ほどご紹介申し上げたいと思います。

さて旅立ちに与えられた御言葉は「あなたがたは地の塩である」「あなたがたは世の光である」でした。最後に三つのことをお話して贈る言葉にしたいと思います。

一つ目は、新約聖書の原文は当時のギリシア語ですが、ギリシア語は動詞の変化だけで主語も表します。普通「あなたがたは」のような代名詞は文にはありません。ところが、ここではわざわざ「あなたがたは」の代名詞が使われています。これは山上の説教の箇所ですから、結果としてイエスの教えを聞いたという事実が強調されています。

二つ目は「地の塩である」「世の光である」と言い切っていることです。「地の塩になりなさい」とか「世の光になるだろう」とは言っていない。もう私の話を聞いたあなたがたは「地の塩である」「世の光である」と言い切っています。

そして三つ目は、最後にあった「あなたがたの立派な行いを見て」という言葉です。「立派な」は英語の聖書では good です。でもギリシア語の聖書では二つの「よい」という意味の単語があります。一つは「アガソス」と言って「道徳的に立派な(人)」という意味です。もう一つは「カロス」と言って「美しい、麗しい」という意味です。さて皆さんは、

この「立派な行い」の意味はアガソス、カロスのどちらだと思えますか。最初、私は「立派な行い」ですから道徳的に立派な人だろうと考へ「アガソス」だと思ひました。ところが原文を見ると「カロス」が使われています。あなたがたの行いは「美しい、麗しい」という意味になります。

つまり「あなたがたは」という代名詞がわざわざ使われイエスの教えを聴いたことが強調されているのも、「地の塩である」「世の光である」と言い切っているのも、そして「美しい、麗しい行い」と言っているのも、この世で神様に愛され、互いに愛し合っている姿は、人の力、人の思いや願いを超えている行いであり、神様は美しい、麗しいと喜ばれ、幸いであると祝福しているということです。

ですから、皆さんが意識しているか否かに関わらず、英和で日々、共に讚美歌を歌い、御言葉に耳を傾け、主が共にいてと祈り過ごした三年間、六年間の日々の姿そのものが美しく、麗しく、すでに「地の塩」「世の光」だったのです。

皆さんは神様に選ばれ入学し、神様に祝福され、守られ、導かれて卒業の日を迎えました。だから、今日の皆さんの美しさ、麗しさに、誰もが喜び、神様に感謝を献げているのです。だから神様はあなたの行くこれからの道でも励まし、寄り添っていかれます。

卒業おめでとう。美しい、麗しいあなたがお一人おひとりは英和の宝です。

*Peace be with you,
The Lord be with you.*

以上をもって、赤の皆さんへの、校長としての最後の励ましの言葉とします。

二〇二四年三月一日

静岡英和女学院高等学校

校長 大橋 邦一